

第8回 環境放射能除染研究発表会

口頭発表プログラムおよびセレモニー

学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる
技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りします。

7月10日(水) 中ホール(2階) (9:20～ 開会式)
(9:35～11:11 一般発表)
(13:00～17:10 企画セッション)
(17:20～ 学会表彰)

環境放射能除染研究発表会開会式

9:20 開会
開会挨拶 除染学会

セッション1. 9:35～11:11 減容化(1)

座長: 宮脇健太郎 (明星大学)

9:35	S1-1	フレキシブルコンテナバッグに封入された汚染土壌からのセシウム抽出と吸着に関する研究	○吉田秀典(香川大学創造工学部), 西岡昌太(香川大学大学院工学研究科), 柴田慶一郎(香川大学大学院工学研究科), 谷中彩寧(香川大学大学院工学研究科), 松本直通(香川大学創造工学部)
9:47	S1-2	淘汰管高度分級による除去土壌の減容に関する研究	○西村諒成(大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻), 秋山庸子(大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻)
9:59	S1-3	吸水ポリマーを用いたトリチウム汚染水保管方法の基礎的検討(その3)	○桧垣正吾(東京大学アイソトープ総合センター), 大石徹(日鉄セメント株式会社)
10:11	S1-4	湿式磁性体形成反応を利用した土壌分級技術の開発	○三苦好治(県立広島大学大学院 総合学術研究科), 村田寛和(県立広島大学 生命環境学部 環境科学科), 荒川和香(県立広島大学 生命環境学部 環境科学科), 石渡寛之(西松建設株式会社 技術研究所), 山崎将義(西松建設株式会社 技術研究所)
10:23	S1-5	実除染土に対する常温乾式磁力選別システムの実証評価	○佐藤友祐 1、佐藤理夫 2、三苦好治 3(1 三和テッキ株式会社、2 福島大学、3 県立広島大学)
10:35	S1-6	塩化揮発法を想定したセシウム不溶化鉱物の合成条件検討	大槻省悟(福島大理工), 高久遼介(福島大理工), 小井土賢二(福島大理工), ○大橋弘範(福島大理工)
10:47	S1-7	高圧フィルタープレス機を用いた除去土壌等の減容化(その2: 分級処理後の濃縮物のブリケット化)	○山田浩司(りんかい日産建設株式会社), 長野敏之(りんかい日産建設株式会社), 鈴木浩(株式会社三菱総合研究所), 宮武裕和(株式会社三菱総合研究所)
10:59	S1-8	機能性多孔質ガラスによるセシウムの回収と固定化	○稲葉優介、原 卓飛、針貝美樹、竹下健二(東京工業大学 先端原子力研究所)

11:11 終了

11:15～12:15 ポスターセッション(偶数番号) (1階 展示室)

【企画セッション】 環境放射能除染学会－日本リスク研究学会共催
「リスクをめぐる対話－リスクコミュニケーションのあり方－」

座長：米田稔(京都大学)

13:00 開始

1	東日本大震災におけるリスクコミュニケーション	竹田宜人(製品評価技術基盤機構(NITE))
2	リスク認知とバイアス	小杉素子(静岡大学)
3	場の作り方、個人属性、メディア	広田すみれ(東京都市大学)

15:00 終了

【企画セッション】 環境放射能除染学会「県外最終処分技術開発戦略あり方研究会」 成果報告
「県外最終処分に向けたシナリオとその多面的評価」

座長：大迫政浩(国立環境研究所)

15:10 開始

1	県外最終処分に向けたシナリオ	山田一夫(国立環境研究所)
2	シナリオの多面的評価の考え方	保高徹生(産業技術総合研究所)
3	総合討論	
	司会	大迫政浩(国立環境研究所)
	パネリスト	有馬謙一(国立環境研究所)
		遠藤和人(国立環境研究所)
		大越実(日本アイトープ協会)
		杉山大輔(電力中央研究所)
		宮本泰明(日本原子力研究開発機構)
		保高徹(産業技術総合研究所)
		山田一夫(国立環境研究所)

17:10 終了

環境放射能除染学会表彰式(開催セレモニー)

17:20 来賓祝辞
学会表彰

懇親会

18:30 ホテルハマツ 3階

7月10日(水) 集会室(5階)

(9:40~11:04、13:00~17:08 一般発表)

セッション2. 9:40~11:04

計測・解析技術

座長:後藤淳(新潟大学)

9:40	S2-1	γ 線センサーアレイによる山林土壌中放射性セシウムの鉛直・水平分布解析	○小川 浩(産総研), 三浦克恵, 井出功一, 石川晃平, 竹之内克弥, 金井羅門, 今井元海, 小高応理(以上 東京パワーテクノロジー), 川本徹(産総研), 上村竜一(東京パワーテクノロジー)
9:52	S2-2	高線量地域に対応した新型表面透過型RI密度水分計の開発	○池永太一(ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社)後藤政昭(ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社)井上恵介(ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社)塩見篤志(ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社)齋藤恵美(ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社)
10:04	S2-3	物質表面のストロンチウム90測定器の開発	○木股信平(千葉大学), 児玉論士(千葉大学), 田端誠(千葉大学), 河合秀幸(千葉大学), 野田秀作(JFEエンジニアリング株式会社), 多田光宏(JFEエンジニアリング株式会社)
10:16	S2-4	可視/近赤外ハイパースペクトルカメラ搭載型UAVの飛行撮影による広域地盤の含水状態の判別	○木村誠(安藤ハザマ 建設本部 土木事業統括部 技術第二部) 鶴田亮介(安藤ハザマ 建設本部 先端技術開発部)
10:28	S2-5	森林内で樹幹の放射能をそのままで測定する一特性X線測定による方法	○高橋正二(高橋科学、ふくしま再生の会)、小原社二(ふくしま再生の会)
10:40	S2-6	福島第一原子力発電所事故後の周辺線量当量率の長期予測と半減期プロファイル	○豊田亘博(豊田放射線研究所)、加藤和明(洗練課題研究所)、熊澤蕃(元JAERI)
10:52	S2-7	γ 線空間線量率解析に用いる実用的な放射線境界条件モデルの開発	○中島主策(東北大学)小林光(東北大学)山守諒(前東北大学)遠藤明人(東北大学)野崎淳夫(東北文化学園大学)一條佑介(東北文化学園大学)吉野博(東北大学)

11:04 終了

11:15~12:15 ポスターセッション(偶数番号)

(1階 展示室)

セッション3. 13:00~14:00

計測・解析技術、材料評価

座長:下山巖(日本原子力研究開発機構)

13:00	S3-1	非放射性Csの濃度測定法について	○渡部 陽介(秋田大学 大学院理工学研究科), 田村 健太郎(秋田大学 大学院理工学研究科), カビール ムハムドゥル(秋田大学 大学院理工学研究科), 佐藤 友祐(三和テッキ株式会社)
13:12	S3-2	海水中放射性ストロンチウムのストロンチウム吸着剤の吸着特性分析	○緒方 良至(名大RIセ)、加藤 結花(日立・ヘルスケア)、箕輪 はるか(慈恵医大・アイソトープ)、小島 貞男(愛知医大)
13:24	S3-3	海水中の放射性ストロンチウム測定へのプラスチックシンチレータポトル法の応用	○加藤 結花(日立・ヘルスケア) 緒方 良至(名大RIセ) 箕輪 はるか(慈恵医大・アイソトープ) 小島 貞男(愛知医大)
13:36	S3-4	汚染廃棄物処分施設コンクリートのアルカリ骨材反応抑制の意義	山田一夫(国立環境研究所)
13:48	S3-5	放射性物質によるコンクリート汚染の機構解明と汚染分布推定に関する基礎研究~Cs、Srおよび水分の移動に関する実験的検証~	丸山一平(名古屋大学)、山田一夫(国立環境研究所)、○井田雅也(太平洋コンサルタント)、渋谷和俊(太平洋コンサルタント)、五十嵐豪(東京大学)、駒義和(日本原子力研究開発機構)

14:00~14:10 休憩・時間調整

セッション4. 14:10～14:58 除染技術、再生利用

座長: 日下英史(京都大学大学院)

14:10	S4-1	森林バイオマスの湿式酸化法による減量・低濃度化の実用化と意義	○原田茂樹(宮城大学 食産業学部 環境システム学科)
14:22	S4-2	セシウムフリー錳化法によるCs汚染鉱物の光触媒材料への変換と環境浄化への再生利用	○杉田 剛(日本原子力研究開発機構)、下山 巖(日本原子力研究開発機構)
14:34	S4-3	大気圧非平衡プラズマ処理が竹炭および活性炭のCs+吸着能に及ぼす影響	○藤川 勇太(九州大学大学院工学府)、石田 直也(九州大学大学院工学府)、山田 悠斗(九州大学大学院工学府)、豊原 悠作(環境省)、久場 隆広(九州大学大学院工学研究院)
14:46	S4-4	賦活化木炭のCs+吸着能とその焼却時の減容化率及びCs+回収率について	○山田悠斗(九州大学 大学院工学府)、藤川勇太(九州大学大学院 工学府)、石田直也(九州大学 大学院工学府)、豊原悠作(環境省)、久場隆広(九州大学 大学院工学研究院)

14:58～15:10 休憩・時間調整

セッション5. 15:10～16:10 貯蔵管理、復旧

座長: 井倉将人(農業・食品産業技術総合研究機構)

15:10	S5-1	民間における放射性物質汚染汚泥処理の歩み～安全・安心を取り戻すために！	近藤 哲(株式会社福島環境整備機構)
15:22	S5-2	除去土壌等輸送後の仮置場における空間線量率の測定結果について	○小磯将広(福島県環境創造センター)、井上広海(福島県環境創造センター)
15:34	S5-3	蛍光X線分析(XRF)を用いた除染廃棄物等熱処理残さに対する迅速元素組成把握法の検討	○野田康一1)2)、倉持秀敏1)、高岡昌輝2)、大迫政浩1) 1) (国研)国立環境研究所 2) 京都大学
15:46	S5-4	除去土壌等保管容器の長期保管に伴う特性変化に関する調査研究(第2報)	○高橋勇介(福島県環境創造センター)、西村正樹(大阪産業技術研究所)
15:58	S5-5	木質バイオマス専焼施設におけるアルカリ金属の挙動	○倉持秀敏1)、由井和子1)、大迫政浩1)1) (国研)国立環境研究所

16:10～16:20 休憩・時間調整

セッション6. 16:20～17:08 リスク評価、解析技術

座長: 下山巖(日本原子力研究開発機構)

16:20	S6-1	除染の完了後における市町村の除染に関する現状認識と課題認識	○川崎興太(福島大学)
16:32	S6-2	放射性物質への安全対策表記に関する一考察	○渡辺 雄一郎、羽野 真美、下田 哲也(東京電力ホールディングス株式会社)、半杭 真一(東京農業大学)
16:44	S6-3	避難指示解除区域の建築内外におけるγ線空間線量率分布の詳細実測に関する研究	○遠藤聡人(東北大学)、中島主策(東北大学)、小林光(東北大学)、野崎淳夫(東北文化学園大学)、一條祐介(東北文化学園大学)、吉野博(東北大学)
16:56	S6-4	熱物性の違いを利用した福島原発事故由来放射性微粒子の判別	○奥村大河、小暮敏博(東大・院理)、山口紀子(農研機構) 土肥輝美、藤原健壯、飯島和毅(原子力機構)

17:08 終了

7月11日(木) 中ホール(2階)

(10:00~12:00 企画セッション)
(14:00~17:00 国際シンポジウム)

【企画セッション】「福島第一原子力発電所事故による海、川への影響」

座長：河津賢澄(福島大学)

10:00 開始

- | | | |
|---|---|---------------|
| 1 | 福島第一原発事故により放出された長寿命放射性核種の環境中のマスバランス:事故後8年間で分かっていること | 青山道夫(筑波大学) |
| 2 | 海産物の放射能汚染と漁業復興の現状と課題 | 森田貴己(中央水産研究所) |
| 3 | 淡水魚の放射能汚染と漁業復興の現状と課題 | 和田敏裕(福島大学) |

12:00 終了

13:00~14:00 ポスターセッション(奇数番号)

(1階 展示室)

【国際シンポジウム】

環境回復活動と住民の理解・信頼向上

14:00 開始

※暫定プログラム

環境省

IAEA

関係自治体

関係業界

17:00 終了

7月11日(木) 集会室(5階)

(9:30~12:04 一般発表)

セッション7. 9:30~10:42

減容化(2)

座長: 秋山庸子(大阪大学大学院)

9:30	S7-1	Cs含有農地土壌の脱水特性の改善方法について	○三浦一彦(鹿島建設株式会社), 大橋麻衣子(鹿島建設株式会社), 辻本 宏(鹿島建設株式会社), 日下英史(京都大学 大学院エネルギー科学研究)
9:42	S7-2	湿式ミルの除去土壌減容化/再生利用への適用可能性	○日下英史(京都大学 大学院エネルギー科学研究科), 三浦一彦(鹿島建設株式会社), 大橋麻衣子(鹿島建設株式会社), 辻本 宏(鹿島建設株式会社)
9:54	S7-3	高圧洗浄技術を応用した新規放射能汚染土減容化技術の開発	○正田武則 1,3,4・松方正彦 1,3・山崎淳司 2,3・志方洋介 3,5・水戸洋彦 3・相川光明 3・上林俊明 3・森山克彦 3 (1 早大先進理工・2 早大創造理工・3 早大ナノライフ創新機構・4 AZMEC・5 グリーンディール推進協会)
10:06	S7-4	高圧フィルタープレス機を用いた除去土壌等の減容化(その1: 高圧フィルタープレス機を用いた、洗浄分級後の濃縮物の脱水ケーキの特性)	○長野敏之(りんかい日産建設株式会社), 山田浩司(りんかい日産建設株式会社), 鈴木浩(株式会社三菱総合研究所), 宮武裕和(株式会社三菱総合研究所)
10:18	S7-5	高圧フィルタープレス機を用いた除去土壌等の減容化(その3: 放射性物質対応の検討)	○宮武裕和(株式会社三菱総合研究所), 鈴木浩(株式会社三菱総合研究所), 長野敏之(りんかい日産建設株式会社), 山田浩司(りんかい日産建設株式会社)
10:30	S7-6	超電導高勾配磁気分離法を用いた除去土壌の減容化に関する研究 ~前処理としての解泥法の検討~	○西本湧希(大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻)秋山庸子(大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻)辻本宏(鹿島建設株式会社)間宮尚(鹿島建設株式会社)

10:42~10:52 休憩・時間調整

セッション8. 10:52~12:04

減容化(3)

座長: 佐藤久子(愛媛大学大学院)

10:52	S8-1	電気泳動とセシウムイオン吸着剤による除染廃棄物の減容	○井川 学、土井 遼河、伊海 雄飛、松野 千加士(神奈川大学工学部)
11:04	S8-2	錯形成物質を用いた水相からイオン会合体相へのSr ²⁺ 及びCs ⁺ の抽出	○須藤れな、齋藤優子、熊谷将吾、亀田知人、吉岡敏明(東北大学大学院 環境科学研究科)
11:16	S8-3	セシウムフリー鈳化法を用いた土壌除染における硝酸塩添加剤の効果	下山巖(原子力機構)
11:28	S8-4	フェロシアン化銅をCs吸着剤とするクロマトグラフィーによる放射能汚染廃棄物の超減容化処理	○市川恒樹(北海道大学・国立環境研究所)山田一夫(国立環境研究所)岩井良太(関東化学)金澤幸広(関東化学)
11:40	S8-5	汚染土壌浄化・再利用と廃棄物高減容化を目指した亜臨界水処理システムの開発 1. 亜臨界水イオン交換によるCs脱離速度と平衡	○竹下健二(東工大先導研)、殷 祥標(東工大先導研、JAEA)、稲葉優介(東工大先導研)、針貝美樹(東工大先導研)、渡邊真太(名大工)、尾上順(名大工)
11:52	S8-6	汚染土壌浄化・再利用と廃棄物高減容化を目指した亜臨界水処理システムの開発 2. カラム法による汚染土壌の連続処理	○竹下健二(東工大先導研)、殷 祥標(東工大先導研、JAEA)、稲葉優介(東工大先導研)、針貝美樹(東工大先導研)

12:04 終了

13:00~14:00 ポスターセッション(奇数番号)

(1階 展示室)